

## 優秀校など表彰

ジュニア防災検定



全国の小・中学生に防災意識を高めてもらう「第5回ジュニア防災検定」(防災教育推進協会主催)の表彰式が東京都文京区のホテルで開催された。特別表彰は津波模型の製作と活用で全国的な活動を展開する、岩手県立宮古工業高校機械科の取り組みが受賞した。

検定は①家族で防災について話し合い、その内容をレポートする事前課題②検定試験③自由研究―で構成。自由研究では地域の防災訓練に参加したり、避難場所のハザードマップを作成したりするなどの作品が寄せられた。

今回は5千人以上が受験し、児童・生徒約170人

と13グループが、家族防災特別賞と防災自由研究優秀賞などの表彰を受けた。また検定に取り組む和歌山県広川町や同県串本町教育委員会などの6団体に自治体表彰、検定に協力するE H 株式会社(堺市堺区)に企業表彰がそれぞれ贈られた。

表彰式に続いて自由研究優秀賞受賞者4人が内容を発表。大阪市天王寺区の清風学園清風中学校の岡野正太郎さんは、災害の様子とドクターヘリなどを組み合わせ合わせた「もしもの時に備えよう!」**写真**と題したポスターについて発表。「描くためにいろいろ調べ、自分の意識も高まりました」と話した。